

特6

441

日本  
国体

神

道

説

教

全

宮本愛櫻校正  
山下宇三郎編輯

014249-000-2

特67-441

神道説教(日本国体)

山下 宇三郎/編

M29

ABB-0578





自序

特67

441

惟夫諸神之聖詔者於于天下人民神道之

要旨者在于修理覺道焉遺道未滅弘化方

盛矣老若男女隨機受教信之行之者遍滿

都鄙宗界之興隆無過于今時爰親友來切

々囑余神道說教之起草余淺學菲開而素

拙說教雖然於弘道之一途者余輩之專務

也不能固辭於是乎僅選五席之談併付一

言於卷首以塞其需云爾





明治二十八年六月 日

黒住教權訓導 山下宇三郎謹誌

緒言

- 一此ノ文ハ余ガ幼年ノ時ヨリ諸大家ノ演説説教ヲ謹聽筆記シ輯索メアリシ該ガ中ノ緊要ナルヲ拔萃シ一卷トシ有志ノ初學トナセリ
- 一此ノ文ハ有志初門ノ學ニ供センガ爲メ極ク簡易ノ文字ノミヲ用ユ
- 一此ノ文ハ初學ノ爲メニセシモノナリ故ニ其一班ヲ知ル人ニミ
- 一此ノ文編輯中ハ始終多端ナリシ故自然事ノ致ラザル處アリシハ後日増補シ訂正ス

以上

山下宇三郎識



標目

- 一 朝旨遵守辯
- 一 教之乘辯
- 一 養育ト教示辯
- 一 萬物ノ基本辯
- 一 神徳辯

以上

日本神道說教

宮本愛櫻校正  
山下宇三郎編輯

朝旨遵守 (第一席)

本の世は今の御のりを畏みてけしき行ひ行ふなゆめ扱テ朝  
 旨遵守ト申事ハ一口ニ云ヘバ、時々ノ御布告ヲ守ルガ宜シ  
 イト申スアル、一体朝旨ト言フコトハ上ノ御思召ト云フ事  
 テ、御布告モ御思召ニ相違ナイノデアル、其ノ御布告ヲ御出シ  
 遊サレハ、御心ハ何シヤト、其本ニ遡テ天朝ノ思召ト我ガ

心ト一体ニナル時ハ末ノ御布告ハ論ナク疑ヒモヤブム心ハ  
 出ハ致サンノデアル、今日ハ朝廷ノ思召ヲアラク説マシヤ  
 ヲガ、其思召ハ皆サン何ト思ハル、文明開化ト云フテ、西洋ノ  
 マチヲ爲サル、コトガ、又何ニカ税ヲ賦課サレテ民ヲ苦シムル



事カト思ハル、カモシラヌガソナ事デハナイ、第一ノ教則  
ニ仰出サレタ敬神愛國ト云コデアル、其ノ内敬神ノ二字ニ朝  
守ハチヤント止テ居テ夫カラ愛國ノ義ガ生レテ來ルノデ、敬  
神ハ親愛國ハ子デアアル夫ハドウシテ分ルト申セバ、年々一月  
三日ニ元始祭ト申ス御祭ヲ遊シテ、御親ヲ天神地祇ヲ賢所ニ  
祭ラセ玉ヒ、此日ニハ大日本國中ノ官國幣社ヨリ府縣鄉村社  
ニ至ル迄漏ル、事ナク祭ラセ玉フノデアアル、ソコデ四日カ政  
治始テ万機ノ遊バシ始ノ日デアアルガ、第一ニ式部頭伊勢神宮  
無事ノヨシヲ申上其ノ次ニ加茂氷川是レハ都近キ處ノ大社  
故ニ、國中ノ大社ノ代リニ無事ト申上夫カラ諸省追々持前々  
々ノコトヲ奏聞致ス由デアアル、年ノ始ノ御儀式ハ右ノ如クデ夫  
カラ二月ノ祈年十一月ノ新嘗ニ式新寮デ幣帛ト申シテ御獻  
備物ヲ官國幣社ニ地方ノ官員ヲシテ御使ニナサレテ奉納ア

ラセラレ、一年ノ中ニ一日官國幣社ニテ大祭ノアルハ縣令  
參事方御參拜アル、其外種々ノコトカアル先ツ一ツ二ツ申セバ  
是ニテ皆敬神ノ顯レテ人ニ見ユル處デアアル、是ガ皆天津神様  
ノ思召デアアル、委ク申スト長クナリ退屈致サル、故ニ段々後  
席ニ申シマシヤウ、扱右様御敬神ナサル、ハ大御先祖ヲ尊ヒ  
敬ヒ給フノデ御孝心ヨリ出テサセラル、處、次ニ愛國ハ天ツ  
神ヨリ仰セ付ラレテ此國ヲ守リ保ツヤウニト瓊々杵尊様ガ  
御降りニ成リマシテヨリ天皇ト仰カレ玉フ、御代代天神ノ御  
命ヲ御守リ遊バシ民安ク國治レト厚ク思召シテ近クハ、御一  
新ノ御大功ヲモ御立遊バサレ、西洋ノ國ヨリ種々ノ教師ヲ御  
雇ナサレ、種々ノ御工夫遊ハル、ハ我カ國ノ善キ上ニモ善キ  
コトヲ取飾テ、地球上ノ美國ト遊バシメ計テ御自分ノ奢ヲナ  
サル、デナイ、萬事萬端御儉約ニテ宮内省ノ御手元金ヲ月々



三千五百圓海軍ノ用度ニ御出シ遊ハサル、杯、涙ノコボル、  
程難有事デアリマス、税金ヲ御付ケナサル、ノモ皆ナ御自分  
ノ子供ト同シ事ノ萬民故皆御取上ナサレテ彼是ノ苦情ハ出  
ム譯、ソシテ無理ハナサレヌ皆付テ善キ程ニ御取立ナサル、我  
國ヲ飾ル道具ニ御使ナサレタリ又種々國ヲ守ル術ニナサル  
ハ、矢張り萬民ヲ御愛シナサレテ御守リナサレ安泰ニサセ  
ヤウトノ思召デアアル、假令ハ一人ノ親ガ十人ノ子ヲ持タ家カ  
アル、其ノ處テ其家カ汚クツテ屋根ガ漏リタリ庭ニ草ガ生ヘ  
タリ、垣根ノ損ハレカラハ盜人ガ入ソウニナツテ來タ時十人  
ノ兄弟ハ夫々ニ商ナリ農ナリヤツテ居トシテ何ニシテモ垣  
ヲ繕ヒ屋根ヲ修理シ庭ヲ灑掃シテ御客ガアツテモムサクロ  
シク無イ様ニ盜人モ入ラヌ様、雨ガ漏ラム様ニスルニ付テ各  
其ノ所得ヲ持出シテヤラチバナラム、ソウサスルノハ無理ナ

親デハアルマイ、夫ヲ銘々身アルヲ知ツテ家アルヲ知ラムヤ  
ウニナツテハ十人ノ兄弟モ不孝ト云ハレタ上ニ本家カツブ  
レルナヤウドソシテ譯テ、税ヲ出スハ銘々ノ守リ銘々ノ光リ  
ニナル本ヲアル 天朝ヲ榮耀榮花ニ奢リナサレデハナイ、  
舊幕ノ時將軍ノ暮シ方杯ハ大ソウナモノデ箸ヲ儉約シタラ  
一月ニ三千兩違タト云ヒ、毎日尻ヲ拭フ奉書カ二十枚入ツタ  
ト云フ事其ノ外万事万端大ソウナ事、民ノ爲ニナツタ入用ハ  
何ニモ御座ラヌ今ノ 天子様ノ御暮シハ一萬石ノ大名ヨリ  
モ御儉約テ、太政大臣殿ガ月々八百圓ノ月給テ一年ニ九千六  
百圓一寸聞ト大ソウナ様タガ、昔ノ五千石高ノ勘定奉行程ハ  
ナイ、能ク考ヘテ愚痴ハ云ヌ様難有事シヤト思フカヨイ、夫レ  
テ天神ノ思召ヲ朝廷テ御守ナサル、ノテ上ノ思召ハ敬神ニ  
アル事ト云フガアツク分リマシタラウ、ソレ故敬神ハ親ニ



孝行スル事ニナリマスノデス、  
天子様ノ神ヲ御尊敬ナサル、ハ御孝心ヨリ出ル事故ニ下萬  
民トテモ親ノ親ト邇レハ、神様ヂヤニ依ツテ孝ノ志ガアルナ  
ラ敬神ハ云フマデモナク能々、篤信セテバナラン、然シ腹  
ノ中ニ種々ノ妄想ガ有テ人ヲホシテ錢儲ヲシヤウ己ノ威  
勢ヲ大ソウニシテ村中ヲ押付ヤウノト、ソナ餘計ノ了簡ヨ  
リシテ大切ノ孝心敬神ノ本ヲ忘ル、ノデアル、吳々モ朝旨ヲ  
服膺シテ片時モ忘ル、ヤウノ事ガアツテハナラヌ、昔シ高尾  
ト申ス女ハ「忘スレテバユソ思ヒ出サズ候カシク」ト文ノ末ニ  
書タト申ス事デアルガ、ナル程思ヒ出スト云フハ忘ル、カラ  
ノ事ヲ實際ノ眞心デアハナイ二十四時中寢テモ覺メテ忘レ  
テハ、思ヒ出ストモ無イノデアアル、時ニ下野國足利郡上川崎村  
ニ、大工逸八ト云フ者ガアリマシテ、妻ナハツト申シテ同國梁

田郡百頭村名主權右衛門ノ娘デアリマシタガ寛政八年齡二  
十ヲ嫁シ來リ翌年男子ヲ生ミマシテ勸彌ト名付夫婦睦マシ  
ク寵愛一方ヲアリマシタガ、逸八ハ其ノ翌年春重キ病ニ  
臥シ醫療ニ祈禱ニ心ヲ盡シマシタガ迎全快覺束ナク見エマ  
シタ、時ニ逸八カ妻ニ申スニハ我レ死シタ後モ我兩親ハ年老  
テモ達者ナレハドウカコウカ世ヲ過サンニ汝ハ里ヘ歸リ再  
縁セヨ、然シ勸彌ハ未ダ乳ヲ離ル、事能ハシセメテ四歳マテ  
モ面倒見テ吳レヨト云ヒマシタ處ガ、妻初ハ妾愚ナレ他ニ  
再縁ナドハ決シテ致サズ身ニ誓テ御兩親様ニ仕ヘ勸彌ヲ育  
ツヘキ程ニ氣遣玉フナト、其ノ后逸八ガ無キ人トナリマシテ  
後只管兩親ニ孝養ヲ怠ラズ子ノ生長ヲ待ナマシタガ、享和元  
年勸彌ガ四歳ノ年父ハ中風症ニ罹リ母ハ痰癢ニテ二人一度  
ニ枕ニツキマシタガ初ハ晝夜看病致マシタガ、漸々ニ身困窮



シテ田畑モ賣リツクシ人ノ爲ニ或ハ糸ヲ取り洗濯ヲナシ種々艱苦ヲシナガラ勸彌ニハ六歳ヨリ手習ヲサセ、父ナキ子トテ笑ハレシト紙筆ニ事ヲ欠カヌ様注意シ千辛萬苦デ暮シテ居マシタガ、文化二年十二月二十八日ニ父勸左衛門ハ死去シ母一人ニ仕一方ナラヌ儉約ヲ守リテ居マシタ同三年十一月六日ノ事デアリマシタガ、盗人が三人此ノ家ニ押入りマシテ二人ハはつノ夜具ノ上ニ上り一人ハ老母ヲ殺サント搦ヘタ處ガ、はつハ目ヲ覺シマシ此ノ有様ニ驚キ平素母ヲ思フ志忘ル、暇ナキ事ナレハ何ノ考モナクハチ起ントシマシタ、然ルニ二人カ押ヘテ居マシタカラ寢マキヲ拔ケテ丸裸ヲ母ノ夜着ニ取重ナリ切下ス双ヲ背ニテ受留メマシタソコデ、盗人モ之ハト驚キマシタ其ノスキニ手痕ヲ負ナガラ抱付テ一生懸命ニ揉合マシタ二人ノ盗人力ヲ併セテ十數ヶ所ノ痕ヲ付ケ

マシタガ、少シモ放サズ大聲ニ助ヲ呼ビマシタ處ガ近所ノ人々集リテ一人ヲ捕ヘ二人ハ逃ゲタト申スカ婦女子デハ感心ナラアル是レ專ラ孝心ノ致ス處デアル、其ノ事幕府ニ聞エテ金數百兩ヲ給ヒ所持ノ田畑ヲ無税ニ申附ラレマシタ孝貞兩全ノ女丈夫トハ此ノはつノ事デアアル、誠ニ此ノ婦人ハ親ノナ片時モ忘レハ致サヌ故ニ斯様ナ美名ヲ今ノ世迄ニ殘シタノデアアル、其孝心ガ段々ト上ヘ上レバ先祖即チ天津神様ヘ孝行ガ出來マス此ガ敬神ノ第一デ只身ノ安全ナドヲ祈ルガ敬神デハナイ、報本反始ト申ソ本ニ報ユル恩報シガ敬神ノ眞實デ其ノ恩報シヨリ愛國ノ事モ出ツレバ朝旨ノアル所モ此ノ外デハナイ「今の世は今のみのりをかゝこみてけしき行ひ行ふなゆめ」



教ノ栞 (第貳席)

我が大御國ニテ第一尊トキモノハ何ヲアルカ、即チ天照大御神ノ立玉ヘル神ノ道デアアル故ニ今日ハ其ノ神ノ道ヲ申述ルノデアアル、扱テ上ヲ仰テ見レバ天ガアル亦下ヲ俯テ見レハ土地ガアル、其ノ中ニ在ルモノヲ即チ人間ト云フ、其ノ人間ニ愚ノ者ト賢キ者ノトアリ、愚ニシテ邪ナル者ハ此ノ受ケガタキ人身ヲ受テモ人ト生レタ甲斐ガナイ、猫猿ト同シ者デアアルサレバ人ハ智慧ヲ磨イテ賢者トナラフチバナラヌ、所謂賢者ト云フモノハ外デハナイ、此レハ本源此レハ枝末トスベキ者ト云フヲ知リ、亦是レハ重キ者はハ輕キ者ト云フヲ知シ、其ノ本源トスベキ者ト重キ者トチ能ク知ツテ、ソレヲ行フガ賢者ト申スノデアアル、其ノ本トナリ重キモノハ天津神ノ御道デアアル是ノ御道ヲ行フガ故ニ萬物ノ中ニテ第一重ク尊イト申



スノデアアル、苟モユノ道ヲ行ハチバ人間ニ生レテモ人間ト生レ  
タ甲斐ガナイ、其レ故ニ古人ハ如此モノヲ人非人ト云フテ貌  
ハ人ナレドモ心ハ人ノ心デナイ禽獸ノ心デアアルト申サレテ  
アル、サレバ大御神ノ道ヲ行フ故ニ人ト云フナレバ御互此ノ  
皇國ニ生レタ者ハ必ズ其ノ本源トナリテ重キ處ノ勿體ナイ  
天照大御神ノ道ハ必ズ行ハチバナラヌ、今日ハソノ道ノ  
次第ヲ御咄申スノデアアル、然ルヲ軍書咄シノ様ニ輕ク聞テハ  
心ニ入ラヌ、折角聞タル詮モナキ、ナリ又聞捨ニシテハ如何  
ニモ勿體ナイ、デアアルカラ、今私ガ御咄申ス、ハ只々此方ノ  
申ス、ト思ズ、是ハ天照大御神様ノ御教、神様ノ仰セラル、ト  
ト思ヒ慎テ聞キ行ハル、カヨイ、實ニ今私ガ説教スルノハ決  
シテ私ノ言出シタル事デナク、神様ノ仰置レタル、ナリ書物ニ  
モ、レ、イ、カリト書キテアル、夫ヲ今日皆様ノ心ニ入ル様ニ解テ

御聞セ申スノデアアル、夫故能ク、謹デ聞カル、ガヨイ又ユ  
レハ尤ノ事ト思ヘバ、我日本ノ人ハ勿論外國ノ人々デモ今日  
ヨリ直ニ御道ニ入り一心ニ篤ト天津神様ノ御教ヲ守リ行ハ  
チバナラン、

却説人タル者ノ行フベキ道ニ五倫ト申シテ、五ツアル今日人  
ノ行フ可キ、トハ數限リナキ如ク思ヘ、ヒ約メテ申セバ五節ナ  
リ、先ヅ第一ニ君臣ノ間柄、第二ニ父子ノ間柄、第三ニ夫婦ノ間  
柄、第四ニ長幼ノ間柄、第五ニ朋友ノ間柄ナリ、而シテ我大日本  
神國ハ其始メハ天照大御神ヨリ皇孫邇々藝命ヲ此ノ國土ヘ  
天降ラセ玉フテ、世々ノ大君トナラセ給ヒ、天地ノ有ル限リ  
ハ替ラセ給ハザレバ、凡テ我國四千万ノ人民ハ皆ナ天皇様ノ  
臣下デアアル、天ハ上ニ在リテ落ナザル如ク、天皇様ハ如何ナ  
ル、トアリ、ヒ御位ニ御替リ在ラセラレズ、此ノ邦ハ天皇様ノ邦



ナレバ天皇様ノ爲ニハ實ニ身命ヲ抛テ忠義ヲ盡サテバナラ  
ヌコデアアル、扱人ノ始メハ夫婦交リテ子が生レ夫ヨリ親子ト  
云フ名モ出來ルナレバ、夫婦ト云フハ實ニ大事ノコデアアル、抑  
此ノ交リノ道ヲ開カセ給フハ伊邪那岐命伊邪那美命ガ皇産  
靈大神等ノ天津神ヨリ、詔ヲ受ケ此國ヲ生作ル爲メニ御交ヲ  
遊ハサレタルナリ、其ノ時男神先ニ立セラレテ女神ハ跡ヨリ  
隨ヒ玉フタニ依テ、我が大日本神國ハ外國ノ如ク女尊男卑ニ  
非ラズシテ男尊女卑ナリ、而シテ男ハ外ノ事ヲ治メ女ハ内ノ  
事ヲ治メ夫婦手ヲ分テ一家ヲ程能治メ今日ノ暮シ向ガ立行  
様ニ致シ下サレタノデアアル、其ノ夫婦ノ交リハ諾冊二柱神ノ  
國土神人ヲ生給フ爲ニ交リ給フテ手本トシテ樂ミ半分ニ夫  
婦ノ交リヲセズシテ、子ヲ生ム爲ニ交ノテアルカラ最モ慎テ  
妾ノコナキ様ニセテバナラム夫婦ノ間ノ交リ方ガ御道ニ吐

ハザレバ、賢キ子ハ出來ズ愚ノ子カ出來テ家ノ亡ト成ル故能  
々々慎テ賢キ子ヲ生ム工夫ヲセテバナラン、如此ノ夫婦ノ  
交リハ重キモノナルニ中ニハ慰ミ半分ニ夫婦ノ交ヲナス者  
ガアル、甚ダシクダハケタ奴ハ人ノ娘ヤ人ノ妻ヘ色慾ヲシカ  
ケル者モアル實ニ此等ハ禽獸ニモ劣リタル者ナリ、各々ハ決  
シテ如此コハ爲サレヌ様願イマス、木ヲ植ヘテモ弱木ノ時ヨ  
リ作ラテバ振好キ木ニハナラヌ如ク人モ小供ノ時ニ仕入置  
テバ好キ人物トハナラン、然レバ正直正義ニテ賢ク才能アル  
人物トナル様ニ正ク育テバナラン、其子タル者ハ兎角親ノ氣  
ニ似タルモノデアアル、サレハ子ヲ持タル者ハ親ノ心得ガ大事  
ナアル自カラ正ク賢キ人物ニ仕立テバナラヌ女子ハ貞シキ  
ヲ守リ靜ニシ騒ガシキ事ナク天晴ノ貞女トナル様ニ仕立テ  
バナラン、サテ夫婦ト云ハ共ニ他人トウシ寄合タル者ナレド



モ、親子ト云ハ實ニ血氣通フテ體ガ分ツタノデアアルカラ、其實  
ハ一體モ同シキナレバ親子程親キ者ハナシ、又子タル者ハ  
親ヨリ生ムデクレズシテ人ト成ルノ筈モナケレバ、自分ノ體  
デハナク實ハ親ノ體ナリ故ニ吾身ト思ハズ親ノ身ト思ヒ孝  
行ヲ第一ニ盡サチバナラナム、其ノ孝行ト云フハ第一親ノ  
心ニ安心安堵シテ喜フ様ニスルガ大事デアアル、又飲食衣服ヲ  
始メ自分ノ處ハ十分省キテ親ニ奉ルガヨイ、特ニ親ノ年老々  
レバ愈々大切ニシテ親ニ案思サセヌ様ニ心ヲ配リ孝行ヲ盡  
サチバナリマセン、我國ニ於テハ君臣ノ義ノ重キナナルガ父  
子ノ親モ同シク重キナリ、古ヨリ忠孝ノ道ヲ能ク行シ者ニ  
ハ天朝ヨリ御褒美ヲ賜リ、書物ニ迄テ書顯シテ後々ノ世迄テ  
モ名ヲノユシ殊ニ人ヨリ譽ラル、ナリ、サレバ君ト親ニ對シ  
テハ吾身ヲ忘レ如何様ノ困キトモ避ズ勉メ行ヒテ忠孝ノ道

ヲ盡サチバナラン、而シテ人ハ生レテ見レバ兩人ノ親アリ次  
ニ手近キニハ兄弟ト云フ者ガアル、兄ト云ハ天神ヨリ思召ア  
リテ先ニ生レシメタマヘルナレバ此ハ先へ立テ敬ヲ盡シ、又先  
へ生レタル兄ハ稚キ者ヲ導テ可愛ガラチバナラン、眞ニ親ニ  
續テ親キモノハ兄弟デアアル、此レハ皆ナ同シク親ノ血氣ヲ受  
テ居レバ體ハ分レテモ同シキ理ナレバ、イツ迄モ親シク中ヨ  
クセチバナラン、此レニ付テ世ノ中ニ老人ノアルハ親ニ似タ  
ル者ナレバ是レハ先へ立テ敬ヒ、吾ヨリ年トリタル人ハ兄ニ  
似タル者ナレバ是亦敬ハチバナラン、凡テ年若ノ者ハ若年ノ  
振ニシテ老人長者ニ對シテ失體不作法ノナキ様ニセチバナ  
ラヌ、次ニ朋友ノ信ト云フハ此ノ世界中ニ生テアル者ニ數限  
リナキ中ニ同シク人ト生レタルハ不可思議ノ縁ナリ、然レバ  
心切親ニクセチバナラン實ニ此ノ尊キ我大日本神國ニ生レ



テ同シク 天皇陛下ノ御政事ヲ受ル者ハ猶以テ心易ク親シクセテバナラン、然レモ廣キ日本中ノ人ニ夫々付合モ出來ザレモ幸ニ縁アリテ心易ク交リ朋友トナリテハ親子兄弟ニ次ギテ心切實意ニ致サテバナラン、アル朋友ニ信アリト云フ信トテ盡ス、テ、兎角自身ノ惡ヲフ處ハ、人モ惡フナレバ、我ノ惡フ所ヲ人ニ持セカケヌ様ニ致シ、我ノ好ム處ハ人モ之ヲ好ム、夫レヲ人ニモ持カケル様ニ致シテ兎角輕薄ナル、ナキ様ニ、誠ヲ盡シテ心切實意ニセテバナラン、此ノ五ツノ道ハ既ニ神代ニハ神々様モ行給イ、人皇ノ世トナリテハ別シテ下ヲ治メ給フ御大法ト成リテアル、ナレバ、我皇國ノ人々ハ無論外國ノ人デモ、此ノ五倫ノ道ヲ心得ヨト云フハ、徧ク書籍ニ述ル處ナレバ、謹テ賜ニ入様聞レテ、直ニ今日カラ行ハル、ガヨイ、何分ノ身ヲ氣儘隨意ニ致テハナラン、又、テ、故、嚴重ニ此ノ

五倫ノ道ヲ守リ行ハル、ガヨイ、サテ神ノ道ハ一朝一夕ニ談シ盡シ難ケレモ、只今申述ル處ニテ荒増ハ分リタル、ナラン、如此申述ル處ヲ聞流ニセズシテ、能ク、腹ニ入テ今日ヨリ直ニ行ヒ外國人ヨリ見ラレテモ如何ニモ日本人ハ感心ト云レル様ニ我日ノ本ノ大御神ノ道ヲ行ハテバナラン、外國人ハ第一耶蘇教等ト云フテ皆、夫々自身ノ國ノ教ヲ守リテ居ル、彼等ハミダリニ外ノ道ニハ入ラン、見レバ、我日本神國ニ生レタル者ハ、我大日本帝國ノ教タル大御神ノ道ヲ守リ外國人ニ笑ハレヌ様ニセテバナラン、若シ我國ノ人ニシテ我國ノ教タル天津神ノ教即チ神道ヲ守ラザレバ、横濱ヤ兵庫ヤ長崎ニ來テ居ル外國人ノ笑ヲ招ク、ハ必定デアル、然レバ私カ今大御神ニ成代、サテ申述シ、神ノ道ヲ速ニ守リ外國ノ人ニ笑ハレヌ様、我が皇國ノ道ヲ守ラテバナラン、日々拜ミ奉ルハ天御中



主神、産日大御神、天照大御神次ニ村々ニアル産土氏神次ニ天神地祇八百萬神次ニ先祖ノ神靈デアアル、殊ニ先祖ノ現ニ在スガ如ク敬禮ヲ盡シテ祭ヲチバナラン、カク申述ル旨意ヲ寢テモ覺テモ心ニタクハへ置テ、夢ニモ惡事ヲナサズ正直ヲ第一ニ守リ御神ノ道ヲ一向一筋ニ信仰シテ有難相違ナキ道ト決ルガヨイ、サレバ神道ヲ基本トシテ神々ヲ拜ミ奉リ生界ニハ神德ニテ關ケ神德ニテ治ル尊キ我大日本神國ノ人トナリ、而シテ百年ノ後ニ身ハ死スルトモ靈魂ハ永ク神トナルノデアアル、實ニ一生ハ僅ノ事ナレバ靈魂ノ永ク神トナル工夫ガ肝要デアアル、サレバ心ト云フ者ヲ十分磨キ神様ノ如キ心トナシテ、イツ迄モ消滅サル様ニセチバナラン、能ク考ヘテ見ルガヨイ死ヌルト云フハ夜ル寢リタルノ永キヤウチモノナリ、晝惡キヲナセバ夜寢テモ心惡クシテ、早ク寢ムラレズ亦タ寢

テモ好キ夢ヲ見サルリ、晝善キ事ヲナセバ夜寢テモ心ヨク、好夢ヲ見ルガ如ク、今此ノ世ニアリテ我神道ヲ守レバ靈魂モ其ノ所ヲ得テ、神トナルニ相違ナイ、善ヲ積ノ家ニハ必ズ目出度ヲガアル、善ヲ行ヘバ我身ト靈魂ハ云フ迄モナク子孫繁昌スルニ相違ナイ、今眼前ノ利慾ヲ貪ル者ハ災害ヲ招クモノナリ、人ハ見ストモ神々ハ見給フテ、陰ニテスルヲモ皆御承知アルヲデアアル、其ノ中ニ陰ニテ惡ヲナシ表ニハ隠シガ深ク神ノ咎メ給フヲナレバ、氣ノ通フ處ハ神ノ在ト思ヒ心ヲ正シテ誠ヲ行ヒ、益々日本魂ヲ振り起シ眞ノ日本皇國ノ人トナラチバナ



養育ト教示 (第三席)

コレハ御一同ニ今日モ早ク御參詣デ喜ビマス、昨日ハ我神國ニ生タ人ハ、天津神ノ道ヲ守ラテバナラント云フコトヲ御話シマシタガ、今日ハ養育ト教示ソテ御話シマシヨウ、サテソノ養育ト教示ト云フコトハ心體ノ二ツニ分ルノデアアル、養育ト云フコトハ體ノ方ヘ付クコトデア衣服ヲ着、亦タ雨露ヲ厭フテ家ヲ立テ、飢ナルト食事ヲ致シタリスルノデアアル、亦タ教示ト云フコトハ心ニ付クノデア、仁義禮智信ノ五倫ヲ説キ教テ種々ノ悪事ヲサセヌ様ニ致スガ教示ト云フコトデアアル、即チ養育トハ肉體教育、教示トハ精神教育ナリ、然レバ精神カシイカリトシテ動かヌ様心ニ道ヲ聽セテ置テバナラン、先ツ神ヲ拜ミ奉リ次ニハ第一我ヲ生ミテ育テ、クレタル兩親ヲ大切ニセテバナラン、母ノ胎内ヨリ出テカラハ親ノホシキ物モ我ニ割ケ



クレ、大小迄親ノ役介ニナリ寒イカ熱イカト心遣シテ我ヲ育  
チクレタル、其ノ恩ハ海ヨリ深ク山ヨリ高ク、實ニ容易ナラヌ  
コトデアアル、且ツ又歳トリタレバ學校へ行カセ手習ヲ教ヘ書  
ヲ讀セ、夫々縁ヲ結バセテクレル迄ノ、其ノ恩ノ高大ナルコトハ  
何トモ云イ盡サレヌコトデアアル、故ニ我身ト思ハズ親ノ身ト  
思イ、如何ヤウノコトニテモ親ノコトナラバ孝行ヲ致サチハ  
ナラン、親ノ心ヲ樂シメ面白ク思フ様ニ心ヲ慰ムルガ第一デ  
アル、飲食モ成ベクタケ自身ノ食フ處ハ止メニシ親ニ奉ラチ  
バナラン、扱テ又今日カ、ル難有文明ノ國ニ生レ、大平ニ日ヲ  
暮シ我ヲ苦メルモノモナク、安樂ニ居ルハ上タル御方ノ御陰  
其ノ本ヲ尋レバ 天皇様ノ御陰ナリ、故ニ 天皇陛下ノ爲ナ  
レバ身命ヲ捨テ、モ忠義ヲ盡サチバナラン、世ノ中ニ御政事  
ト云モ一々下ノ者ノ氣ニ入様ニモ出來ヌモノデ、氣ニ入ヌト

云フテ腹ヲ立テ、ハナラン、又其内ニハ氣ニ入様ナ今日ノ如  
キ文明立憲政事ト廻リテ來ルカラ、實ニ難有コトデアナイカ、昔  
カラ上ハ御宜キコトナレバ折ニハ役人ノ惡キニテ、下々ノ者ヲ  
苦ムルコトガアル、然レモ民百姓ノ難遊ニナル様ノ取計ヲス  
ルモノハ直ニ役モ免ゼラル、カ、罪セラル、モノナレバ萬一  
惡イ御政事アル時ト云モ僅ノ間ナリ、此レハ時ノ役人ノ致方  
ガ惡イナレバ、天子様ヲ御怨ミ申上ル筈ノモノデアナイ、サレ  
バ重々我邦ノ天子様ノ尊キヲ知リテ忠義ノ心片時モ忘レヌ  
様ニセチバナラン、此邦ハ天子様ノ御國ナレバ大日本神國ノ  
富ム様ニスレバ此レモ忠義ノ一端デアアル、何ニテモ御國ノ爲  
ニナル様ニ朝夕心得居ラチバナラン、一家ノ中ニテハ親ニ孝  
行シ次ニハ夫婦中ヨクスルガ肝要々々、女ハ差出タルコトノ  
ナキ様家ノ内ノ事ヲ取治メ、夫ハ外ノ事ヲ取計ヒ致シ妄ナル



コトハ互ニ救ヒ合ヒ、喜ビユトハ共ニ喜ビ合フテ親クセチバ  
ナラン、然ルニ彼是ト強欲ヨリシテ争テ訴訟等ナストハ、人間  
ニ於テ有ルマシキコトナリ、村中郷中固マリテ道ヲ守ト云トモ、  
誰ニシテモ氣ニ入ラヌコトモ折々ハアルモノナレトモ、聊カ  
ノコトハ彼此ト云ハズ和ギ睦クシテ邪ヤ悪シキコトハ少シ  
モシテハナラン、人間ト生レ來テハ人ノ道ヲ行ハシメシルノ  
ガ天津神様ノ御思召デアル、サレバ天津大御神ノ御道ニ入ラ  
チバ濟マヌトト覺悟シテ、飽迄モ十分ニ神道ニ志シ大日本神  
國ノ人タル道ヲ、體認シテ行ハチバナラン、扱テ人體ニハ病氣  
ト云フモノガアリテ、別シテ困難ノコトデアルガコレハ親ノ胎  
内チ出ヅル時病人テ生レダノテハナイ、譬ヘバ今日風邪ニナ  
ルノハ寒冷チモ構ハズ、寒ヘタルニ依テ風ヒキトナリタルノ  
デアアル、寒シト思ヘバ衣物チ重テ着、暖チ處ニ居レバ風ヒク氣

コトナク睦クシテ、イツモ諾冊ニ柱大御神ノ御夫婦ノ道ヲ始メ  
給フ事チ思ヒ心チ清ラカニ正シクセチバナラン、扱テ子チ生  
メバ初男子ニハ自分ノ家ヲ繼スベキ人物トシ、二男三男ハ他  
ヘ養子ニヤリテモ十分其家ヲ繼グ様ニ仕立、兎角正直ニシテ  
誠チ守ル様ニ致サチバナラン、女ノ子ハ靜カニ貞クシテイカ  
ニモ女子ヲシクシテ、人ノ嫁トナラル、様ニ育テチバナラン、  
元ハ神様ノ御差圖ニテ吾ガ子モ生ル、コトナレバ、神慮ニ叶  
フ様ノ正シキ子ニ仕立チバナラン、亦兄弟ト云フハ實ニ同シ  
血氣ニテ親ニ次テシタシキモノナリ、夫レ故ニ互ニ相愛シ相  
親クスルノデアアル、村内ハ同シ氏神様ナレバ是レハ別シテ親  
シクスベキ筈ノ者デアアル、人間同士ニテモ親シクスベキ道理  
アルニ況テ同郷ニ居リ同シ氏神様ニ仕ヘ同シ同シ役所ノ支  
配チ受ケテ居ルト云フハ、實ニ不思議ノ縁デアアルカラ、難義ノ



遣ハナイ、第一氣分ニアル心ヲ強ク氣ノ盛ナル者ヘハ病モ少クアル、氣ノ弱キ者ニハ病人ガ多クアル、我心ハ天津神ノ賜リタルモノナレバ、心ヲ手強クシ物ニ負ヌト腹ヲ剛ク練テ居レバ病ノ來ルコトハナイ、病ハ我ヨリ招クノデアアル夫レハ日々大酒ヲ飲ミ大食等スレバ、體ニ病ヲ生ズルハ勿論ノト亦近頃ハ處々ニ賣女ガアル此ノ女等ニハ多ク微毒ガアル、此ノ微毒ヲ受ルト仕舞ニハ大切ヲ親ヨリモヲタ鼻マデ落サレ、誠ニ見ニクキ人トナルノデアアル、故ニ病ハ我手ニ作ルノガ多イ、自分カラ病ヲ受ル様ナルト致サテバ、イツ迄モ壯健デ又タ他人ノワライヲ受ケルトモナイ、實ニ正直ニ神ノ道ヲ守リ居レバ率ニ入ル氣遣ハナイ、正直ナレバ人ニワライハレ亦タ罪ヲ受ルコトモナケレバ、人ニワライハレ亦タ罪ヲ受ルハ我ト我手ニ作ルノデアアル、養生シテ正直實意ナレバ病ヲ受ケルトモナシ、他人

ニワライヲ受ケルトモナク罪セラレ、トモナイ、不養生ナレバ病ヲ生ジ惡逆ナレバ忽チニ捕縛セラレテ罪ヲ受ケ、他人ニワライヲ受ケ終ニハ短命トナル、如此次第ニテ長壽短命モ皆我手ニ作ルノデアアル、サレバ自然ノ道タル天津大御神ノ教ニ基キ、神様ヨリ頂戴シ居ル心ヲ清淨ニシ神ノ道ヲ信仰スルガ宜イ、如此難有神道ナレバ我邦ノ人ハ屹度心得テ奉行セテバナラン、外國ニハ皆耶蘇教等アリテ其ノ國ノ人ハ皆、其國ノ教ヲ信仰シテ居ル決シテ外國ノ教ハ信仰セシ、我國ニテモ昔シ德川將軍ノ時ハ御條目ニ、邪宗門禁制トノ事ニテ外國ノ耶蘇教惣シテ外國ノ宗門ハ決シテ信仰スルトハ出來ナンダノデアアル、此ノ大日本神國ニ生レテ日本ノ基教タル神道ヲ守ラテバ、毎々申ス通り外國人ノワライヲ受ケル、我國ノ教ハ世界中ニ於テ一番尊キ道ナリ、サレバ篤ト神道ヲ心得テ信仰シ外國



ノ人ニツライチ受ケヌ様ニセチバナラン、今少シク先キニナ  
レバ外國人ト雜居スル様ニナルコトデアルカラ、其節ハ外人  
ニ迄難有此ノ神道ヲ信仰サセチバナラン、若シ雜居トナラバ  
我ト親ク交ラザル外人ヨリ萬一無理ヲ言出シ、天皇陛下ノ  
御迷惑ニナルコトガ出來マイ物ヲモナイ、其時ニハ百姓モ町人  
モ皆ナ 天皇陛下ノ御爲ニ忠義ヲ盡サチバナラン、サレバ我  
國ノ神道ヲ心得信行シテ人ニ負ヌ様ニ勇氣實力ヲコシラヘ  
テ置カチバナラン、今日ヨリ大御神ノ道ニ入り信行シテ、我神  
國ニ敵對スル者アラバ追退ケルト云剛キ心膽ヲ養育セチバ  
ナラン、此ノコトハ我が爲ノミデハナイ、上天津大御神ヲ始メ天  
子様ノ御爲メ、下各々ノ先祖ヲ始メ父母ノ爲メデアルカラ、能  
々考ガヘテ天津神ノ道即我神國ノ教タル神道ニ入り、厚ク信  
仰セラレンコトヲ重テ願イ置クノデアアル、

萬物ノ基本 (第四席)

今日ハ世ノ中ニ於テ何が本デアルト云フコトヲ御話申スノ  
デアアル、世ノ中ニ於テ何が本デアルカト云ハ、此ノ世界ノ無  
キ前ヨリ天御中主神ト申ス神様ノ在ラセラレテ、高天ノ原ノ  
主トナリ給フテ總テノ事ヲ主宰シ給ヒ、皇産靈二柱大御神ハ  
天御中主神ノ次ニ立セラレ、結<sup>ムス</sup>ノ御德ヲ以テ總テ天下萬物ヲ  
生作スルコトヲ掌リ給フ、今天地ノ間ニ萬物ヲ造化シテアル其  
ノ基本ハ、此ノ三柱ノ神デアアル此レハ私ガ申ス計リデハナイ、  
古事記ト云神道ノ書物ノ序文ニ於テ、三神造化ノ首ヲナスト  
書テアルカラ夫レニ依テ申スノデアアル、サレバ今眼前世界ニ  
人ト萬ノ物が生活スルト云フハ、其實皆此三柱ノ神ノ御德デ  
アル然ルニ昔シ、此ノ三柱大御神ヨリ諾冊二柱ノ御神へ此ノ  
漂ヘル國ヲ修理固成トノ詔リアラセラレシニ依テ、此ノ國土



ヲ生作シ給ヒタルユトテ、八百萬ノ神々モ生レ給ヒマシマシ  
タル中ニモ、天照大御神ノ御德ハ光華明彩ノ御德ニアラセラ  
レテ世界中ヲ照シ給フ、サレバ今日如此畫中ノ明カナノハ、皆  
天照大御神ノ御德デアアル故ニ重々神様ヲ敬ヒ奉ラテバナラ  
ヌ、大昔シニ此ノ世界一端天照大御神ノ御弟、須佐之男命ノ所  
食シ治給フコトニ諾尊ヨリ定メ給ヒシニヤガテ、此御神ハ夜  
見國ニ入ラセラレトナリ給ヒシ故ニ、其御子孫ナル大國主  
神又ハ大名持神ト申ス、神様ガ此國土ノ未ダ十分開ケザル時、  
種々ノ悪キ神或ハ悪キ獸毒虫等ノ類、總テ人ノ害トナルモノ  
ハ悉ク拂ヒ除キ平ゲ給フトモ、廣キ天下ノ中ニ大國主神一柱  
ニテハ中々行届カザルヨリシテ、少彦名神ト申神様出給ヒテ  
大國主神ト心ナ一ニシ、力ヲ戮セ給ヒテ遂ニ此國ヲ十分ニ堅  
メ作ラセ給フタノデアアル、國ヲ作り堅ムルノミナラズ人ノ病

ヲ得テ困ミテ憐ミ給ヒ、禁厭ノ法ヲ傳ヘ給ヒ亦タ草木ノ藥ト  
ナルモノヲ知リ給ヒ、病アル者へ藥ヲ與ヘ給ヒ醫者ノ道ヲ開  
キ給フタノデアアル、今病氣ノ療ルハ皆此大國主神少彦名神ノ  
御陰デアアル、扱此御神ハ我大日本帝國ヲ十分ニ作り堅メ給ヒ、  
遂ニハ異國迄モ作り給フタノデアアル、故ニ我大日本神國ノ者  
勿論異國ノ人ト云トモ、御神德ヲ心得信仰シ奉ラテバナラン、  
世ノ中ノ人ハ自分ノ體テ自分ニ生テ誰ノ御陰モ蒙ラズ、自分  
ノ力ニテ暮シテ居ル如ク思フナレトモ、ソウデナイ天照大御  
神皇産靈大御神ノ結ビニ依テ生レ、日ノ神ノ御照シアル故ニ  
明ニ今日ヲ日出度送ルノデアアル、亦タ村々ニ産須那氏神ノ社  
アルハ此神ガ、産日大御神ノ神慮ヲ承ケ奉リ其村ノ人ヲ生産  
シ顯世ニハ其村民ヲ守リ、亦タ大國主神ノ輔ケトナリ、其ノ人  
ノ後世ニハ靈魂ヲ使令シ專ラ一村ノ幽政ヲ取行ヒ給フノデ



アル、然ルニ産土神ニモ天神モアリ地祇モアリ火ノ神モアレ  
凡、火ノ神迎モ火ニノミ關係シタルコトナク、水ノ神トテモ水ノ  
事ノミチ司リ給フニハアラズ只一村ノ幽政ヲ司リ給フノデ  
アル、譬ヘバ士ニテモ百姓ニテモ町人デモ登庸セラレテ、御役  
人トナレバ前ノ身分ニ構ハズ其職務ヲ取り行フガ如クデア  
ル、此村ニ産土神氏神ト云フガアリテ其村ノ幽政ヲ掌リ給フ  
ノデアアル、サレバ世ノ中ノコトハ皆神様ヨリ御處置御取計ノア  
ルノデアアルカラ、一己ノ我慢ヲ立ズシテ諸事神様ノ御陰ヲ蒙  
ラテバナラント覺悟シテ、萬事神様ニ身ヲ御任セ申シテ我神  
ノ事ヲ唯々一心ニ信行シ、聊ニテモ外ノ横道ニハ入ラヌガヨ  
イ、善キ正尊ナル我神道ヲ信行シ義ト云フモノヲ、嚴重ニ守レ  
バ八百萬神ノ御惠助ヲ受ケルノデアアル、夫レ故ニ忽カニ一日  
モ送ラズ、一日生活居レバ一日御道ヲ行ヒ彼是ト心ヲクルハ

セズ、一心ニ萬事神様ノ御處置ヲ仰キ奉ラテバナラン、日本中  
ノ人ハ皆一家内ノ人ト心得テ我モ立行クヨウ、人モ立行ク様  
ニ心ヲ配バリ、第一天子様ニ忠義兩親ニ孝行夫婦中ヨク兄弟  
親ク友ニ實意ヲ盡シ、人倫ノ道タル神様ノ御教ヲ片時モ忘レ  
ヌヨウ行ハテバナラン、獨リ者ノ難遊人ヤ病人等ハ憐レミテ、  
出來ル尺ノコトハ救フテヤリ互ニ立行様ニシ、又日本ニ生レテ  
ハ日本ノ教タル神道ヲ本ニ立ズシテハナラヌコト故、私ガ申述  
ル神ノ道ヲ篤ト腹ニ入レルガヨイ、只腹ニ入タノミデハ何ノ  
功モナイカラ眞實ニ行ハテバナラン、扱テ兎角世ノ中ノ人ハ  
他人ノコトヲ彼是ト誹ルガ、此レハ惡シキデアアルカラ氣ニ入  
ヌコトアルモ默テ居ルガヨイ、惡イコトナスル奴ハ直ニ行當テ  
嚴シキ罰ガアル、ソレ迄ハ人ノコトハ言ハヌガヨイ、人ノ事ヲ惡  
ク言フト人ニニクマレテマルデ此方ニ敵對シテクル故、何事



モ世ノ中ノ人ノ事ヲ彼是ト云ハヌガヨイ、イラヌコトヲ言フ  
テ居ル暇間カアレバ、神様ヲ拜ミ孝悌忠信ノ神ノ道ヲ行フガ  
ヨイ、又世ノ中ノ人ガ悪キ事ヲ盛ニシテ居ルヲ見テハホメ、善  
キ事ヲ行フテ居ルヲ見テ役ニ立ヌ等ト云フテハナラシ、此レ  
ハ前々申ス如ク悪イ處ノ奴ノ小イ悪イコトハ早ク罰セラル  
ナレバ、大ナル悪イ事ガ罰ガ遅イモノデアアル、悪キ事ヲスル奴  
ハ必ス先ノ世ヘ行テモ神ト成ルコトハデキズ、善キ事ヲ行ヘ  
バ必ス此世デハ大福アリ、先ヘ行テハ神ト成ラレルカラ篤ト  
合点レテ誠ノ道ヲ行ハチバナラシ、今日往來ヲシテ西ヘカ東  
ヘカト尋チテモ一禮ハスルノデアアル、況テ今日申述ル處ハ皆  
古ノ書物ニ證據ノアルコトデ、殊ニハ一生執リ守ルベキ大切ノ  
コトヲ申述ノデアアルカラ、合点覺悟ノ行カレタ御方ハ一相勤メ  
テ行ハチバナラシ、兎角信仰ト云フコトガ大事デアアルカラ信仰

シテ眞實ニ行ハチバナラシ、就レデモ何々様トモ何々殿トモ  
云ハズシテ、何々ト呼ヒステニスレバ腹ヲ立ルアロフ、夫ヨリ  
ハ牛ヨ馬ヨト呼バ、マタ大ニ腹カ立テ怒ルデアロフ、其レハ  
人間ヲ牛馬ト呼バレテハ悪イカライヤガリ腹ヲ立ルノデア  
ル、然ルニ人ニシテ牛ヤ馬ノ如キ獸ノ行ヲ爲ス者ガアル、此レ  
等ハ牛ヤ馬ト同シコトニナルヲ好ム襟ナモノデアアル、難有モ  
天津神ヨリ頂戴シテアル心ニ思ヘバ道理ハ成程ト感シ心ニ  
ウカブモノデアアル、私ガ今話申ハ成程ト感心シタナレバ、此レ  
ハ即チ天津神ノ心デアアル私ガ今申ス通りニ行ヘバ天津神ノ  
御思召ニ叶ヒ、天下ノ人ハ感服シ後ノ世迄モ名ヲ遺シ人ニ譽  
ラル、コトデアアル、然ルニ己ガ牛ヤ馬ト呼バレ、バ厭ノクセ  
ニ矢張牛馬ノ行ヒチ爲シテ居ルハ愚者デアアル、實ニ一生ノ間  
ハ僅カニ百年ニモ足ラヌニ此間ノ私慾カ、永々迄モ残りテ人



ニ穢ク言ハレ剩靈魂モ嚴罰ヲ受ルコトデアアルカラ、早ク魂ヲ  
入レ替テ惡コトハ秋毫モナラズ、善事ハ務メテ爲サテバナラ  
シ、如此説教モ聞ザル先ナラバ惡ヲナスモ知ラズノスル故ニ、  
神様ノ御責モ薄ケレトモ一度デモ如此説教ヲ聞テ、夫レヲ何  
トモ思ハズ聞捨ニシテハ益々神慮ニ叶ハズ罪モ重キコトナ  
レバ、能々心得實地ニ行フテモライタイ、私ノ説教モ島々迄行  
届ザルニ今回各々ニ對面シテ説教申スノハ、不思議ナル産日  
神ノ結バセ給ヒシ御縁ナレバ、ドゥツ能ク心得テ容易ナラ  
ヌコト信仰シテ天津神ノ道ヲ守リ行フテモライタイ、

神 德 (第五席)

多クノ人ハ神代ト今世トハ事モ反リタル如ク思フナレドモ  
今モ神代モ同ジキ道理ナレバ世ノ惡キ風ニ染込マズ物ヲ疑  
ヌ様ニシテ善事ハ好キト信仰シテ守リ行ハテバナラン、且申  
述ル證據ハ古事記日本紀ト云フ神典ニアル著キ事ヲ今日ノ  
人ニ分リ易キ様ニ分ケテ申述ルノデアアル、今日ノ事ハ皆神様  
ヨリ人ノ立行様ニ御配慮ノアルコト也、サレバ苦シキ人モ困リ  
テ居ル人モアルベケレモ、苦シコトモ困リタルコトモ深ク憂ヘ  
ズ、身ヲ神様ニ御任セ申上テ誠ノ道ニハツレテバ、身ノ暮シハ  
立行ト覺悟シテ氣ヲ痛ズ心ヲ困メヌガヨイ、笑フ門ニハ福來  
ルト云フモアレバ、面白ク心ヲ樂シメテ誠ノ道ヲ行フテ居レ  
バ、神様ヨリ好キコト授ケテ下サルナレバ重々安心シ、又物ノ  
出來ルモ成ルモ今日ノ通り、神道ヲ申述ルモ皆天御中主神ガ



萬ノ物ノ本ニ立セラル、産日神ノ萬ノ物ヲ生ミナシテ結ビ給  
フ御徳デアル、今日各々ニ對面シテ面ヲ見知ルモ日ノ御神ノ  
徳デアアル、天御中主神産日大御神日大御神ノ御徳デ誰モ彼モ  
面白樂ミテ居ルノデアアル、神様ヨリ程能世ヲ涉ラレルヤウ遊  
サレルト覺悟シテ、決シテ疑フコトナク邪見ナク信行シテ聞カ  
チバナラシ、反ス反スモ申述ル處ハ聞タ計デハ何ノ益ニモナ  
ラス、故ニ行ハチバナラシ行フハ尤モ苦シキコトモアル、サレト  
モ苦ミテ行フタ後ニハ必ズ面白キコトが大ニアル、サレトモ  
直ニ功能ハ見ヘヌモノデア後ニテハ必ズ大ナル福ヲ得ル也、此  
ヲ譬ヘテ言ヘバ百姓ガ直草ヲトリ種ヲマキタル如ク、今日直ニ  
米ガ取レル者デハナイ、夏ニナリテハ炎天ニ膚ヲサラシテ、草  
ヲトリ水ノ養ヒ精リナク肥モ入レテ、漸ク秋ニナリテ米ガト  
レルデアアル、眞ニ種ヲ蓄ヘ置テカラ種ヲマキ植付肥シテ入草

ヲ取り水ノ世話亦タ風ニ障ラヌ様虫ノツカヌ様ト、神々様ニ  
モ祈リ種々様々心配シテ漸ク米トナルガ如ク、今日申述タル  
ヲ各々方ノ聞テ歸ルハ種ヲモラフタ様ヲモノデアアル、聞タ通  
リ行ハチバナラシト心ヲ磨キタリ孝行ヤ忠義ヲ盡シ日本魂  
ヲ練ルハ種蒔ナスル様ヲモノデア、夫カラ骨折テ行フタラ秋澤  
山ニ米ノトレル様ニ、大ニ我身ノ光ヲ顯ス様ニナル、サレバ愈  
申述ル處ノ説教ヲ信仰セチバナラシ、休息シテハ功能ナケレ  
バ休息セズ續テイツ迄モ行ハチバナラシ、常ニ修理固成光華  
明彩ノ八字ヲ唱ヘ此ノ意味ヲ念シ、心ノ誠ヲ推シ行ヒ實地ニ  
行ハチバナラシ、而シテ天神地祇ノ神慮ニ叶フハ御道ヲ弘ム  
ルニアリ、誠ノ神道ヲ弘ムレバ神様ノ思召ニ叶ヒ皇國ニ對シ  
大ナル忠義トナルノデアアル、今日困窮ノ人モアレバ金ヲヤリ  
米ヲ遣ハシテ救フモ善心ナレド、此體ヲ養フコトノミナレバ心



ナ正クシテツカハズ、教ニハ劣レルナレバ道ヲ教ヘテ人ヲ救  
フハ救ヒノ大ナルコトナレバ、志ノアル者ハ此道ヲ篤ト心得テ、  
心得違ノ者ヘハ意見シ是ノ神ノ道ヲ言繼テ、推弘メ我ガ神道  
ノ善道ヘ立反ラシムルヤウ心ヲ盡サテバナラン、眞ニ心ヲ取  
直シテヤルホド仁心善心ナル者ハナケレバ、天津神ノ教ヲ以  
テ人ヲ教フル心得ガナケレバナラン、實ニ教ノ徳ハ子孫ヘモ  
及ビ千里ノ外ヘモ及ブ、日ノ御神ノ世界中ヲ光輝ク如ク、教ノ  
行渡リ充滿ルハ限リナケレバ我ガ教ヲ限リナキ先ノ先迄、推  
弘メ世ヲ救フ志切々ニナラテバナラン、シテ先申ス通り私モ  
世界ノ人中ハ勿論日本人中ヘモ一々御面會シテ、今日ノ如ク  
天津神ノ道ヲ説傳ヘルト云フコトニハ及バン、然ルニ今此ニ各  
々ニ對顔シテ説傳タノハ私ハ申スニ及ハス、天津神様モ御滿  
足ノコト思イマス、私ハ今日限リ當地ヲ立タテバナランケレ

モ亦參イテ、御話申スコトモアリマシヨウシ、若シ神道ニ付テ不  
審ノ處アラハ、只今尋問ニ預カリタイ、又後日不審ノ出來タ時  
地方ノ神官ニ付テ、能ク御聽ナサレテ天津神ノ教ヲ信仰シ、  
守リ行イナサレンコトヲ重々願マス、



明治二十八年六月十三日印刷  
明治二十九年七月廿六日發行

編輯者兼

黑住教權訓導

山下宇三郎

岡山縣平民

岡山縣備中國阿賀郡豐永  
村大字赤馬三拾九番邸

印刷者

兒島友三郎

岡山縣岡山市大字上之町  
七拾貳番邸

印刷所

岡山活版所

岡山縣岡山市大字上之町  
貳拾六番邸



